

光と緑の風通信

発行/2009年6月25日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 TEL024-547-1111 (代)

平成21年度 入学式 〈看護学部へようこそ！〉



2009年4月6日

新入生の皆さんへ



研究科長 横田 素美

看護学部および看護学研究科にご入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる学生生活に皆さんは、それぞれのような未来を託しているのでしょうか？

未来は、誰に対しても等しくあらゆる可能性を準備してくれています。ただ、その可能性をどのような形にしていくか

は、皆さん一人一人の責任です。自分の可能性に向かって、一步一步進んでいく中では、物事が自分の思うように運ばない時もあります。そうした時、ついつい私たちはその責任を誰かのせいにしてしまいたくなり、自分には責任がないと思いたくなります。でもどんなに自分の中で言い訳をしたとしても、結局は自分が関わったことの責任は自分に回ってきます。物事が自分の思うように運ばなかったり、上手く

いかなかったりする時こそ、きちんと自分で責任をとっていくことが大切です。そうすることが見え、可能性を実現へと変えていくことができます。あなたの未来に広がっている可能性を信じて、自分が考えたこと、表現したこと、行動したこと等々への責任を持ちながら大切に進んでいって下さい。

(よこた もとみ)

「絵ろうそく」のような生き方



看護学部長 中山 洋子

この4月と5月は車窓から色濃くなっていく緑を眺めながら、新幹線で東京と福島を何度も往復した。そんな時、JR東日本で発行している冊子「トランヴェール」5月号に本大学名誉教授の竹川佳壽子先生が会津の歴史について紹介しているという情報を本学の菊地臣一学長から得た。

竹川佳壽子先生は、看護学部の開設にご尽力くださった医学部の歴史学の教授である。冊子を

手にし、竹川先生の会津のお話に引き込まれるように読んでいく中で、私は「絵ろうそく」の話に心が動かされた。会津の和ろうそくは、熟練した職人によって何日もかけて作られる美しい蠟燭である。日本の草花の絵が描かれ季節感がある。米国の友人のお土産として買い求めていた。数少ない会津の伝統の技を守る職人が、最後には燃え尽きるのに丹精込めて作っていると、それを老舗店主の言葉として「ろうそくは我が身を犠牲にして人を照らし、人の

ために静かに消え、深く身を引く」と書いている。看護という仕事も形に残るものではない。病む人々に、一時でも「安心と安楽」がもたらされるように心をこめてケアし、看護師はそつと静かにその場を去っていく。古くさいと言われそうであるが、自分の看護師として技を磨きながら、人の心に温もりをもたらす、消えていく、そんな「絵ろうそく」のような生き方が看護の原点にはあるのではないかと思った。

(なかやま ようこ)

ようこそ看護学部へ



今皆さんは看護についてどんなイメージを持っていますか？
私は、看護って素晴らしいと心から思っています。そして、
助産師の仕事が大好きです。でも学生の時からずっとそうだった
訳ではありません。実は途中で、辞めようと思ったり、別の
職業を考えたりもしました。悩んだり迷ったときは、コン
サートや美術館に行くなど芸術に触れていました。とりわけ演
劇はよく観に行きました。ジャンルは問わず、崇高なものから
怪しげなものまで…。しかし一番影響を受けたのは、何
と言っても素敵な人々との出会いでした。そして、私はついに
目覚めたのです。「看護とは何て奥深い職業なんだろう！何て温
かい学問なんだろう！私は一生この仕事でいく！」と決めたの
は、なんと30歳の時でした。
人生はわかりませんね。「あなたが絶望しても人生はあなたに
絶望していない」(ジクトール・フランクル)の言葉にあるよう
に希望(のぞみ)を捨てなければ、可能性は無限に広がってい
ます。
さて、話を戻しますが、20代の私に何があったのでしょうか
かつその続きは、今度どこかで出会った時に…。お楽しみに!!

おおた みさお

新入生のひとこと

新しい環境になつて。
新鮮な声を聞きました!

新入生 85名

青木 みずほ
助産師を目指して入学しました。学生生活を通じて人間的に成長していきたいと思えます。勉強だけでなく、人との出会いから色々な事を学んでいきたいと思えます。

浅野 慧子
将来、地域社会に貢献できるような保健師になりたいので、必要な知識や技量を身につけるのはもちろんのこと、コミュニケーション能力を高め、人間的にも成長したい。

阿部 仁美
この大学に入学してとてもワクワクしています。これからの4年間は、部活や勉強、たくさんの人と関わって、看護に活かせる豊かな個性を養いたいと思えます。

安部 みなみ
素晴らしい教授陣や優しい先輩に恵まれた環境の中で、自分らしさを生かし、たくさんの努力をしたいと思えます。積極的に物事を吸収していきたいのでよろしくお願いします。

五十嵐 恵
福島県大に入学することができて本当に嬉しいです。助産師という夢に向かって努力していきたいと思えます。出会いを大切に、前向きに笑顔で頑張ります。

猪俣 麻未
大学に入り全く新しい環境で慣れないこともありですが、新しいことにとんぱん挑戦して頑張りたいです。

今泉 理恵
入学してから一週間が経ち、授業も始まったので目標を明確に持ち自分の体調管理に気を配って生活していきたいです。4年間を精一杯頑張りたいと思えます。

岩淵 奈保
新生活が始まり、毎日大変ですが、勉強に部活に頑張りたい、悔いの残らない楽しい大学生活を送りたいと思えます。

上野 智奈美
私は入学と同時に一人暮らしを始めることになったので、勉強と自炊を両立していきたいです。また、部活動が盛んな学校だと聞いているので部活動にも参加しようと思えます。

梅村 由香里
私は福島県立医科大学に入学し、専門的な知識はもちろんですが、自覚的に探求し続け、多くの人に出会い人間的にも成長し、信頼されるナースになれるよう頑張りたいです。

遠藤 美穂
私はこの大学で看護師としての様々な知識や技術を身につけたいです。将来は生まれ育った福島の医療に貢献していきたいと思えます。

大内 美奈
私は将来、看護師、保健師、助産師の資格を取りたいと思えます。そのために部活などの大学生活を楽しみつつ、体調管理をしっかりして勉強を精一杯頑張りたいです。

大河原 知佳
念願の看護師という夢に、一歩一歩近づいていけるように先主や先輩方、同級生からたくさん吸収していきたいと思えます。四年後には心身共に成長できるように頑張ります。

大沼 愛弓
私は、福島県立医科大学で様々なことを学び、知識を増やすことだけでなく、人として大きく成長したいです。また時間があれば、部活も参加し、毎日有意義に過ごしたいです。

大和田 ゆかり
看護師として地域の人々と共に生きていくという夢に向かって、多くのことを学び吸収できる様、日々目標を持ちながら、4年間を有意義に送れる様頑張りたいと思えます。

尾形 絢奈
勉強ももちろん頑張りたいですが、部活のほうにも積極的に参加したいと思えます。

小椋 彩夏
新しく始まった大学生活にはまだわからないことも多く、毎日戸惑いと驚きの連続です。この大学で大きく成長できるように新しいことにどんどん挑戦していきたいです。

片平 朝子
大学は初めてのことがばかりで期待と不安でいっぱいです。早く環境に慣れて大学生ライフを楽しみたいと思えます。

片山 ちづる
晴れてこの大学に入学できたことを嬉しく思っています。これからも勉学に励み、4年間が充実した大学生活になるように頑張ります。

片山 夕佳
私はたんざん小学校一小で、体力に自信がないのですが、看護について学びたいので頑張ります。高校時代の皆勤を糧に、大学でも皆勤を目標にして諦めずに勉強したいと思います。

鹿野 雅之
学問に励みながら、サークル活動も行い、充実した学生生活を送りたいです。地域医療に少しでも貢献できる人間を目指して4年間自分を成長させていきたい。

の先生方や先輩、仲間達と交流することで視野を広げていきたいです。

樋山 祐紀

勉強と部活動を両立させながら、楽しい大学生活を送れるようになりたいと思います。

福田 理恵子

看護を学ぶのは、この大学に進学できる縁あつてのことです。4年間健康管理に気をつけ、看護という学問を深めていきたいです。県外出身なのですが、よましくなれたいです。

藤原 未来

県立医大に入学することができ、とてもうれしく思います。勉強、部活動に、限られた学生生活を存分に満喫します。

星 直雄樹

県立医大は大変部活動が盛んな大学です。また、自由にPCが使えるりと勉強する環境が整っています。なので、部活と勉強の両立、文武両道を志して努力していきたいです。

穂積 美里

看護師になる為、知識だけではなく実践を通してコミュニケーション力や自立心を学んでいきたい。

増子 春菜

念願の医大に入学できてとても嬉しいです。これから素敵な看護師になれるよう、講義でしっかりと学び、いろんな人と仲良くなつて人間性を豊かにしていきたいです。

松井 詩歩

私は将来看護師として人の役に立ちたいので、大学生活を通していろいろなことを学べるように頑張ります。

松本 由美

不安で一杯ですが、4年間を通して多くの人と関わり、有意義な大学生活を送りたいと思います。毎日楽しく過ごしていきます。

茂木 菜月

志望していた県立医大に入学できる事が出来、とても嬉しく思っています。将来、この福島県で地域医療に貢献できる看護師になれるように一生懸命勉強に励んでいきたいです。

森 友里香

まだまだ慣れない大学生活に苦戦していますが、4年間充実した、楽しい生活を送りたいと思っています。友達もたくさん作りたいと思っているので気軽に話しかけて下さい。

守家 詩織

生命の誕生に直接触れ合つことのできる助産師になれるように頑張りたいと思います。夢叶うまで努力、妥協はせず、自分らしくいきたいです。

安田 万佑子

大学生活を楽しみつつ、やるべきことは一生懸命頑張りたいです。

柳田 佑夏

医大でのキャンパスライフを楽しみ、勉強に励み、充実した生活を送りたいです。

山平 琴美

常に全力で、頑張りたいと思います。

山本 侑子

福島はとてもいいところなので、これから4年間楽しく過ごしたいと思います。勉強も部活もいろいろがんばります。

山本 結美子

不慣れなことも多いとは思いますが、「一生懸命勉強に励み、より多くの知識と技術を身につけ、周囲の人から信頼されるような医療人になれるように頑張りたいと思います。」

湯田 結美

大学では新しい知識や専門的知識を覚えることが多く、授業も90分と長くなるので、意識を高く持ち続け勉強に励みたいと思います。

吉田 恵美

第1志望大に入学できて本当に嬉しいです。これから4年間しっかりと勉強に励み、様々なことを経験して豊かな個性を養ってきたいと思います。

若狭 智仁

私は1年間警察官として社会人を経験してきました。今年から学生として看護の道を進む事になりませんが、今迄得てきた経験を活かしながら心機一転意直に頑張ります。

若林 里美

この大学で新しい人との出会いを大切にしたい。多くのことを学んでたくさん楽しみたいです。自分の目標を達成させるために、辛いことにも耐えていきたいです!!

渡部 綾紗美

学校生活における人との関わり合いの中で日々成長していきたいです。充実した4年間を過ごせるように頑張ります。

渡邊 広大

大学ではたくさん知識や教養を身につけるために一生懸命がんばります。

渡邊 紗弓

将来のために勉強を頑張りたい。いろいろなことに挑戦して、充実した大学生活を送りたいです。

編入生 6名

石川 珠実

福島県立医科大学でより深く看護について学びたいという思いで、部活動や課外活動にも積極的に取り組む充実した大学生活を送りたいです。

小針 良恵

福島県立医科大学は文武両道にとても優れているので年間様々なことに挑戦していきたいです。また看護学校で学んだことも生かして自分の看護観を深められるように勉強したいです。

三本松 芳美

部活と勉強を両立して楽しい大学生活を送りたいと思います。また、編入生は、様々な学生と講義が一緒なので、講義を通して多くの学生と仲を深めたいと思います。

関根 友美

私は明るい所が取り得ます。この2年間で自分積極的に学びを深めたいと思います。また、良好な人間関係も生活の中で築いていきたいです。

丹澤 幸美

私は、多くの事を学びたくさんの人との出会いを通して、自分の視野をひろ、また部活動を通して楽しく充実した学校生活を送りたいと思います。

皆川 綾

大学では専門知識を学んだことを活かしながら、新しいことにも積極的に取り組んでいこうと思います。

赤羽 沙織

大学院での勉強と職場での通常業務に加え、教育係という役割やハピセンターでの仕事と何足も鞋を履きながら臨床に生かせる研究をしていきたいと思っています。

明間 正人

「学入生」という期待が、1つ1つこぼれていく不安な日々の気持ちです。胸をはって「看護師です」と言えるように、精一杯がんばります。

阿部 文一郎

3年の歳月をかけてneuron networkのreconstructionを目指したいと思っています。たぶん、そのために頑張っています。

安中 みい子

「あつた」と「オバケ」は出ない、が座右の銘なので、今までの事は1つ1つ片付けていきたいと思います。卒業時には階段昇りの成果として、体重減少と体力増加に期待!!!

大学院生 12名

今井 亮

成せは成る、成さねば成らぬ、何事も、の精神で一生懸命頑張ります。

今泉 純子

生態看護学専攻です。病院勤務をしながら通いますが、学びを持ち帰り、また職場で気づいた課題をここで情報収集し、新しいことに挑戦していきたいと思っています。

菅野 聖子

保健医療福祉の様々な領域で公衆衛生看護を行う保健師の役割が増加していると共に「地域」というキーワードが使われる機会が多いように思います。保健師の仕事は再構築したいと思っています。

木島 裕子

「学びたい」という気持ち、ムクムクと芽生えて来ました。山岳と登山で、体力の続く限り通いたいと思っています。

菅原 尚美

先生方や院生の皆さんとの出会いを通して、自分を見つめ直し、看護への見識を深めたいと思っています。自ら学ぶ姿勢を忘れず、充実した大学院生活を送れるように頑張ります。

田中 久美子

「努力は人を裏切らない」

柳澤 美紀

心新たに長野より引越して参りました。多くの人の出会いを大切に、学問的なものや有難さを感じながら、毎日を過ごしていきたいです。

渡邊 美恵子

看護という仕事は自分なりの実感を持ちたいと思いつつ、仕事と学業の両立の道を選択しました。ここで学んでいって、数年後、今よりも深化した自分になることを期待しています。

新一年生のみなさんへ

2年 紺野 愛

一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活への期待や不安で胸がいっぱいのことと思います。私も一年前はじめての一人暮らしや新しい環境に慣れずに不安でいっぱいだったことを思い出します。



本学には同じ目標を持った人たちが、私たちが温かく教え導いてくださる先生方がたくさんいて、意欲的に学習に取り組んでいる環境が整っています。そして、学生のほとんどが部活動やサークルに所属していて、積極的に活動しています。

限られた学生生活の中で一日一日を大切にして、有意義な時間を過ごしてください。みなさんにとって、この四年間が素敵なキャンパスライフになることを祈っています。

(こんの あい)

welcome!

先輩からのメッセージ

新入生のみなさんへ

3年 鈴木 洋美

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学生活はいかがお過ごしでしょうか。一人暮らしの人は不安、もしくは自由であることから楽しみでいっぱいだと思います。しかし、一人暮らしは全て自己責任であり、はじめのあ



る生活を心掛けなければなりません。また、看護学部4年間は決して楽な道ではなく、実習、課題や試験などで挫けたり、悩んだり、絶望を感じることもあるかと思えます。そんな時に、あなたを助けてくれるのが、共に乗り越える仲間でしょう。仲間は最高の宝です。み

編入生から編入生へ

編入4年 大河内 静香

編入生のみなさん、御入学おめでとうございます。入学された皆さんを見て、去年の自分を思い出し、1年が経つのは早いと感じます。私はこの1年間、勉強、部活動、アルバイトなどから沢山の学び、思い出ができ、この大学に編入をして本当によかったと思っています。大学の勉強は、自分で課題を決めて学習したり、グループワークを行う機会が多いので、学生が主体的に学習でき、広い視野を持つことができるようになります。医大は部活動がと



ても盛んで、沢山の人たちと知り合えることができますし、多くの青春を味わう事ができるでしょう。また、アルバイトをして社会勉強をするのもよいと思います。編入は2年間とあつという間です。自分がこの大学で学びたいこと、経験したいことにどんどん挑戦して充実した学校生活を送ってくださいね。

(おおこうち しずか)

ようこそ大学へ

4年 飛毛 亜弓実



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そろそろ大学生活にも慣れてきた頃ではないでしょうか。大学では勉強、部活、一人暮らし、アルバイトなどを通して

を学ぶことができると思います。先生や親が教えてくれた今までは違う経験があります。どの程度一生懸命やるか、何に挑戦するかは自由ですが、そこでの人との出会いは様々なことを教えてくれます。人と接することで

人との付き合い方や社会のルール、他人を思いやることや自分の考えを持つことなど

えてくれた今までは違う経験は自分の人格を育ててくれます。人との出会いを大切に、今しかできないことを自分なりに夢中でやってみてください。様々なことに挑戦できるこの時を活かし、充実した四年間を過ごしてください。

(ひけ あゆみ)

未知の世界へ

大学院2年 中野 理恵



私が大学院という未知の世界へ飛び込んでからあつという間に一年が過ぎてしまいました。あまりに様々なことがありすぎて一部記憶が途切れているところもあるぐらいです。大学院では日々看護について考え、問われ、表現することを求められます。初めてのことは戸惑ったこともありましたが、日々の学びは本当に面白く興味をそえられることばかりです。そのたびに今まで行ってきた看護を振り返りこれからの看護について自問自答する毎日です。

また、仕事と学業の両立は大変なことも多くくじけそうになることもあります。そのたびに先生方からの学びや学生同士の会話からエネルギーを貰っています。

大学院で学ぶという貴重なチャンスを得た者同士、家族や同僚など周囲の人へ感謝しつつ一緒に未知の世界を堪能しましょう。ご入学おめでとうございます。

(なかの りえ)

新任教員の あいさつ



よろしくお願
いいたしますー！

3月まで助産師を
しておりました。慣
れ親しんだ臨床の場
から離れ、看護学部
に通っている姿を、



家族看護学部門
酒井 真知子

いまだ不思議に感じます。「通常が分からない」とい
う錯覚にさえ陥っています。

ただ、そこにある信念は、助産師人生を酒井パワー
全開で生き抜くことです。臨床が好きだからこそ、
新しいことに挑戦したいと思うのです。

白衣を脱ぎ、改めて白衣の重さと存在を感じる今
日この頃ではありますが、白衣を脱いでも熱く（熱
い…産婦さん・スタッフ・学生からよく言われる私
の形容詞です）頑張つて参ります。

(まかい まちこ)

6月から技術補助員として働いています。

家族看護学部門 柴田 幸恵

母校に戻って

時が経つのは早いもので、
私が本学4年
生の助産学実
習のときに生
まれたお子さ



▲筆者右下

家族看護学部門
川鍋 紗織

んは、この春小学2年生になりました。母校に戻り、
当時、動き始めたばかりでありました看護学部が活気
づいていることを嬉しく感じております。そして、こ
のたび母校に戻る機会をいただいたこと、これまで私
を支えてくださった方々に感謝し、これから多くの方々
との出会いを楽しみにしております。どうぞよろしく
お願いいたします。

(かわなべ さおり)

はじめまして



家族看護学部門
亀岡 泰子

私は、佐藤先生の育休代替えということで1年間お
世話になることになりました。今までは、3年生の母
性看護学実習の4クールと5クールのみをお手伝いし
ていましたが今年には助産学実習や課題別実習もあり1
年の3分の2を実習に携わることになりました。学生
とともに学びを深めながら充実した実習ができるよう
努めていきたいと思っておりますので宜しくお願いいた
します。

(かめおか やすこ)

平成20年度 看護学部卒業生の進路状況

卒業生の進路状況

卒業生		83人	進学	3人
就職	80人			
県内	県外			
35人	45人			

国家試験の合格状況

	保健師	助産師	看護師
受験者	83	6	77
合格者	82	6	76
合格率	98.8	100.0	98.7
全国合格率	97.7	99.9	89.9



地域看護学実習をとおりて福島を知る

ケアシステム開発部門 高瀬 佳苗



地域看護学実習は、4年次前期に福島県内の地方自治体（市町村保健センターを中心とした）で行われる臨地実習です。この実習では、公共交通機関、自転車、そして徒歩などの方法を使いその地域をめぐり、見る、聞く、嗅ぐ、触れるなどの五感をフルに活用して、地域の人々の生活や暮らしぶりを把握し、その健康問題を明らかにします。そして、そのうえで、どのような人々を対象にどのような看護活動が行われているか

を体験的に学習します。この過程を経て、私たちは福島県内の小さな地域ですが、その特性を知ることができ、それまで知らなかったことを知ることができ、知っていたつもりだったけれど本当はどうなのかということを経験することができるのです。さあ、皆さんもいっしょに、福島の新たな面に出会いませんか。（たかせ かなえ）

退任教員のあいさつ

ありがとうございました

家族看護学部門

木村 英子

在職中は大変お世話になりました。講義、演習、実習と学生の皆さんと一緒に学んだ時間はとても貴重でした。特に実習はとても楽しかったです。先生方や学生の皆さんに教えていただいたこと、そしてここで学んだことをこれからも大切にしていきたいと思っております。ありがとうございました。（きむら えいこ）

またお会いできる日を
楽しみに！

生態看護学部門

菅野 久美

講義や実習・研究会活動などを通して、学生や諸先生・臨床の方々とともに、思い悩み・考えた4年間は、私にとっても貴重な財産となりました。特に学生のみなさんそれぞれが成長していく姿に、大きな可能性と頼もしさも感じていました。こちら岡山は福島から少し離れておりますが、これからもみなさんの応援を続けたいと思っています。

次にお会いするときは同じ看護職者として、臨床のこと・研究のことなど、一緒に語り合えること楽しみにしています。

まずはお元気で!! (かんの くみ)

退任のご挨拶

家族看護学部門

後藤 千恵

臨床から教育の現場へ異動して過ごした2年間は、実習や講義を通して学生の皆さんと共に考え、学ぶことができた貴重な経験となりました。今度は臨床と一緒に働けることを楽しみにしています。皆様のご活躍を応援しています。（ごとう ちえ）

お世話になりました

生態看護学部門

根本 奈々

生態看護学部門の助手として勤務させていただきましたが、この度出産のために退職の運びとなりました。一年半という短い間でしたが、教員として働かせていただいたことは、貴重な経験であり、幸せなことだったと改めて思います。先生方や学生さんからたくさんのお言葉を学ばせていただきながら、自分を見つめなおす機会となりました。今後は、少しの間育兒に専念しながら、また看護に携わっていきたくと思います。本当にお世話になりました。（ねもと なな）

日々是好日

ケアシステム開発部門

熊坂 智美

在職中は大変お世話になりました。母校に戻り、改めて自分を見つめ直すことができました。諸先生方、学生の皆さん、この2年間で出会った全ての方々へ成長させていただいたように思います。何事も自分の心持ち次第。感謝の心を忘れず、一瞬一瞬を大切に、地域の保健師として頑張りたいと思います。最後に、今後の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。（くまさか ともみ）

退職のご挨拶

家族看護学部門

向田 めぐみ

新学期も早1ヶ月、いろいろな思いを胸にお一人お一人日々健闘が始まっていることと思います。ご縁があり看護学部に参加しましたが、3月をもちまして退職することとなりました。1年間という短い期間で、主に母性看護学実習での関わりでしたが、いろいろ学び多き教員生活となりました。今後もあきない夢に向かって歩んでいく予定です。皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。（むかいだ めぐみ）

